

《参考図書を使って漢字にまつわることを調べる！！》

漢和辞典とは…

漢字・漢語（漢字の熟語）の意義を日本語で解説した辞典。漢字の意味や読み方、成り立ちなどを知ることができます。本来、漢籍（中国の古典）を読むために作られた辞典です。現在は、「漢文を読み解くための辞典」と「現代日本語で使われている漢字の理解に重点を置いた辞典」に大きく2分されます。『大漢和辞典』は、前者の代表的な辞典です。



『大漢和辞典』全15巻 1～12巻—本文、13巻—索引、14巻—語彙索引、15巻—補巻

もろはしてつじ 諸橋轍次著 鎌田正、米山寅太郎修訂 大修館書店

中央図書館 3階参考図書コーナー 分類番号 823

こんな時、『大漢和辞典』を引いてみましょう。

- 他の漢和辞典では見つからなかった漢字を調べる。

『大漢和辞典』は、親文字（見出しになっている漢字）5万字、熟語50万語を収録した最大級の漢和辞典です。

※日本で作られた漢字（国字）・熟語など収録されていない漢字もあります。

- 漢詩文の名句、故事成語を調べる。中国の文化を知る糸口にする。

中国古典からの出典と用例が豊富に引用されています。漢字・漢語文化の一大百科といえます。



『大漢和辞典』の引き方

◆文字・語彙の排列

- ・親字（見出しになっている漢字）— 部首順。各部首内の文字は、画数順に排列。
- ・語彙（熟語）— 親字のあとに、その漢字から始まる語彙（熟語）が掲載されている。

◆13巻『索引』

■読みから

「字音索引」、「字訓索引」を引く。訓読みの方が同じ読みが少ないので、探しやすい。

■部首から

①部首の画数を数える。②「部首索引」（中央図書館では13巻の表見返しに添付）で部首を探し、何巻の何ページかを知る。③部首内画数（部首以外の部分の画数）を数える。④調べたページを開き、欄外の部首内画数と漢字をたどって探す。または、巻の冒頭「総文字 部首順による検字」で正確なページを知る。

■読みも部首も分からないとき

- ・「総画索引」を引く。『大漢和辞典』は収録漢字が大変多いので、あまり実用的ではない。
- ・「四角号碼索引」を引く。漢字を、左上・右上・右下・左下の4つの角の形から分類する。

◆14巻『語彙索引』 収録された熟語（語彙）を、現代かなづかいの五十音順で検索できる。

※本文の語彙、「字音索引」、「字訓索引」の読みは、歴史的かなづかい（旧かなづかい）が用いられているので、注意が必要。（例：「トウ」現代 → 「タウ」「タフ」歴史的）

調べてみました ①

詩句、熟語の読みが分かる時は、『語彙索引』を引くと便利です。

**問** 「国破れて山河あり」という漢詩の作者は誰か。

**答** 14巻『語彙索引』で「くに～」を引く。「くにやぶれてサンカあり」3巻89ページとあり。

**【国】** 【国破山河在】クニヤブレテサンカ アリ 国家は破れ人民は離散したが、唯自然の山河のみは依然として昔のままにある。〔杜甫、春望詩〕国破山河在、城春草木深、感レ時花濺レ涙、恨レ別鳥驚レ心、(後略)

杜甫の「春望」という詩ということが判明。『杜甫全詩集』等に掲載あり。

調べてみました ②

読みが分からないときは、漢字を部首から調べます。

**問** ある人の名前「矩男」の「矩」は、父親が『論語』の孔子の言葉からとったとのこと。『論語』のその部分が読みたい。

**答** 「矩」の読みが分からないので部首から引く。部首は「矢」と想定して、部首索引(13巻の表見返し)の部首画数5画を見ると「矢」部は8巻276ページ。8巻の冒頭「部首順による検字」の「矢」部の漢字一覧を見る。「巨」は5画なので見ていくと、「矩」は288ページ。

**【矩】** ㊦のり。きまり。おきて。つね。〔論語、為政〕不レ踰レ矩。

【不レ踰レ矩】ノヲユクス 規則にはづれぬ。(中略)〔論語、為政〕七十而従心所欲不踰矩。

『論語』の「為政」をあたる。読み下し文：七十にして心の欲する所に従って、矩を踰えず  
解釈：欲望のままに動いても、人間の法則は踰えないという境地に達した。

※『大漢和辞典』よりの引用は、必要箇所のみ抜粋。また、返り点など一部省いています。

調べてみよう

○ 夏目漱石のペンネーム「漱石」には何か意味があるのだろうか。

**ヒント** 14巻「語彙索引」で引く。

○ 「牛膝」と書いて何と読むのか。また何のことなのか。

**ヒント** 13巻「字訓索引」で「牛」の訓読みを引く。

○ 「忖度」の読みと意味。

**ヒント** 13巻添付「部首索引」を引く。**注意!** 「忖」は、4画の部首「心」を見よ。

○ 自分の名前の漢字を引いてみる。

こんな本も



『ことばの海へ雲にのって：大漢和辞典をつくった諸橋轍次と鈴木一平』岡本文良  
刊行までの三十年におよぶ苦闘の道を描いた児童書。 **【Yオカ】** 書庫

『「大漢和辞典」を読む』紀田順一郎編 大修館書店 1986 **【813】** 書庫  
使いこなすためのガイドブック。「四角号碼索引」についても解説。

『漢和辞典に訊け!』円満字二郎著 筑摩書房 2008 **【823】** 1階  
漢和辞典の使い方、引きにくさ(!)を解説、そして面白さを熱く語る。